

2018年9月25日

東急不動産株式会社
東急不動産SCマネジメント株式会社

東急不動産の商業施設で取り組む環境保全活動「エコマキ」

“木のぬくもりと音”で感じる身近な環境保全活動

自分の声が楽器になる不思議な楽器「ウッドカズー」を
間伐材で作るワークショップを開催

～関東・関西の10施設にて10月6日（土）より順次開催～

東急不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：大隈郁仁）および、東急不動産SCマネジメント株式会社（本社：東京都港区、社長：栗辻稔泰）は、運営管理する関東・関西の10施設にて、環境保全活動の一環として、イベント「エコマキ×morinooto『エコのオト』～エコの音を鳴らそう、作ろう。～」を、10月6日（土）より順次開催します。

本イベントでは、森林保全で出た間伐材を利用し、自分の声が楽器になる不思議な楽器「ウッドカズー」を作るワークショップを開催します。完成後には参加者みんなで音を奏でる演奏会も実施します。さらに館内には間伐材で作られた楽器と音の出るおもちゃも展示しており、誰でも自由に触れ、音を出して楽しんでいただけます。



ウッドカズー（イメージ）

日本は国土の約7割を森林が占める世界有数の森林大国です。森林がCO2吸収や生物の多様性保全などの健全な機能を発揮するには間伐などにより適切に整備される必要があります。東急不動産ホールディングスグループでは、「緑をつなぐ」プロジェクトとして継続的な森林保全の取り組みを推進しており、東急不動産の商業施設で、環境保全活動を身近に感じていただけるきっかけづくりとなるような各種活動「エコマキ」を展開しています。「緑をつなぐ」プロジェクトで森林保全活動の支援をしている岡山県栗倉村の間伐材を利用し、同村を拠点に活動する「morinooto」の協力のもと、昨年に引き続き本イベントを開催する運びとなりました。昨年は関東・関西の10施設で開催し、700名以上のお客様にご参加いただきました。



2017年のワークショップの様子（左：東急プラザ蒲田／右：あべのキューズモール）

楽器展示（イメージ）



■概要

名 称：エコマキ×mori no oto「エコのオト」～エコの音を鳴らそう、作ろう。～

内 容：①ワークショップ「間伐材の手作り楽器『ウッド カズー』を作ろう！」

木を削り、パーツを組み立てて、自分の声が楽器になる不思議な楽器を作ります。
好きな色のパーツを選んでいただき、オリジナルの「ウッド カズー」を完成させます。
最後はみんなで演奏会も実施します。

②木で作った楽器と音の出るおもちゃの展示「森の音を奏でよう」

木は古くから楽器素材として利用されてきました。展示される楽器は誰でも自由に触れることができ、木を叩いたり、こすったり、共鳴させるといった楽器の原型をお楽しみいただけます。

参加費用：お一人様1回100円

参加人数：各施設先着50～100名 ※施設により異なります

開催日程：

10月 6日(土)	東急プラザ蒲田 (東京都大田区)
10月 7日(日)	東急プラザ戸塚 (神奈川県横浜市)
10月 8日(月・祝)	デックス東京ビーチ (東京都港区)
10月13日(土)	もりのみやキューズモールBASE (大阪府大阪市)
10月14日(日)	あまがさきキューズモール (兵庫県尼崎市)
11月 3日(土・祝)	あべのキューズモール (大阪府大阪市)
11月 4日(日)	みのおキューズモール (大阪府箕面市)
11月23日(金・祝)	東急プラザ表参道原宿 (東京都渋谷区)
11月24日(土)	ノースポート・モール (神奈川県横浜市)
11月25日(日)	東急プラザ銀座 (東京都中央区)

※開催時間・場所は施設により異なります。詳細は店頭のパスターや施設ホームページにてご確認ください。

■「エコマキ」について



あしたに咲かそ、エコのタネまき。

東急不動産の商業施設では、環境保全活動をもっと身近に感じていただけるような、きっかけづくりを行っています。“あなたのフダンの暮らしのなかに、小さなエコのタネをまくように。地道な取り組みを広げて、大きなエコの輪へ育てたい。”そんな想いを込め、活動の総称を「エコマキ」と名付けました。

■「mori no oto」について

mori no oto

「百年の森林構想」を掲げる岡山県西粟倉村に活動拠点を置き、楽器と音の出るおもちゃを作っています。木の香りと暖かな音色に包まれ、自然と人が支えあうすてきな暮らしを創りたい。そんな想いで生まれました。

※東急不動産ホールディングスグループでは、「緑をつなぐ」プロジェクトとして、mori no otoが活動拠点とする岡山県西粟倉村の森林整備の活動を支援しています。

「緑をつなぐ」プロジェクト URL：<http://tokyu-midori.com>



■これまでの「エコマキ」での取り組みのご紹介

◎間伐材の有効活用

東急プラザ銀座（東京都中央区）キリコ라운ジのプランターや、東急プラザ表参道原宿（東京都渋谷区）屋上テラス「おもはらの森」の樹銘板、もりのみやキューズモールBASE（大阪府大阪市）設置の遊具などに、東急不動産ホールディングスグループが活動を支援する、保全森林の間伐材が利用されています。

2016年3月に、間伐材を利用して、オリジナルのサシェ（香り袋）を作成するイベントを開催。チャリティーで集まった募金の全ては、間伐等の森林保全支援に充てられました。



◎古着リサイクルイベントの開催

2015年2月～3月に、ご家庭で不要となった古着の回収と、それを利用したリメイクのワークショップ「DO IT YOURSELF わたしのエコは古着のリサイクル」を開催しました。回収された古着は、後日チャリティーバザーで販売し、収益金の全ては植林活動を推進する「グリーンベルト運動」に寄付されました。



◎環境学習イベントの開催

2014年10月に、人力発電による電力で、エコトレインやメリーゴーランドを動かしたり、紙芝居形式のエコストーリーを読むなどの体験を通じて、電気を大切にすることを学ぶイベント、「みんなでエコチャレンジ！人力遊園地がやってきた」を開催しました。



◎氷柱設置と打ち水イベントの実施

2013年8月に、夏場の節電の勧めとして、施設内に氷柱を設置。見た目の涼やかさと氷柱越しの風で冷気を感じていただくとともに、うちわの配布も行いました。さらに、氷柱で溶けた水を再利用して、日本古来の涼を取る手段である「打ち水」を、お客様と一緒に行いました。

